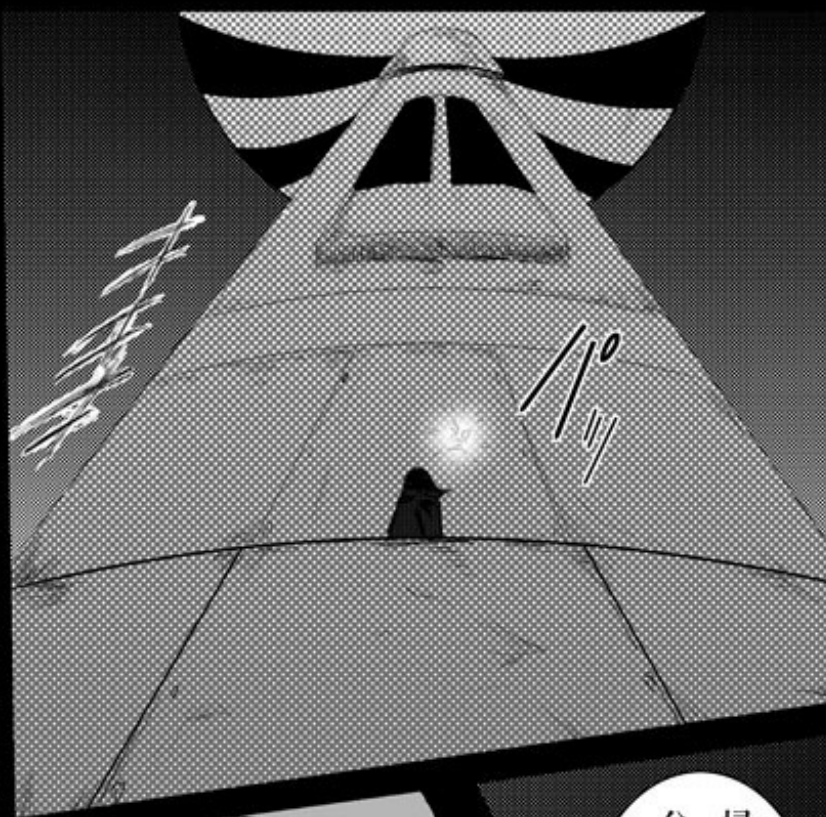
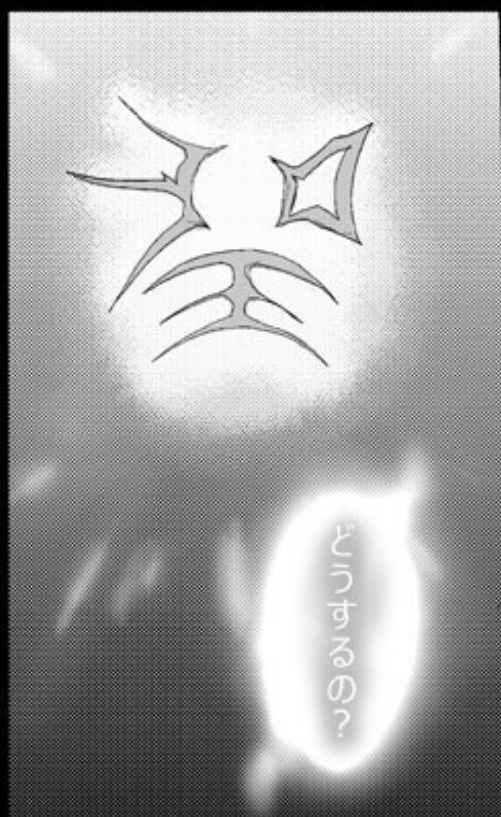


Shito Angelus Aurora

愚者の章

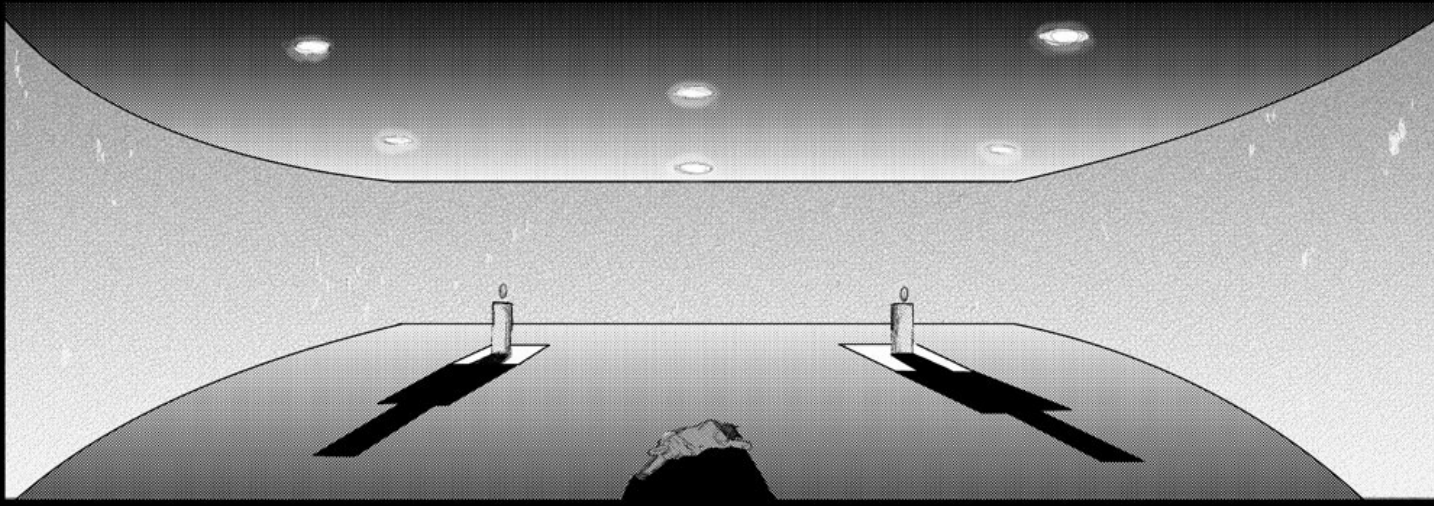
6



行こう

帰った場所は
分かっている

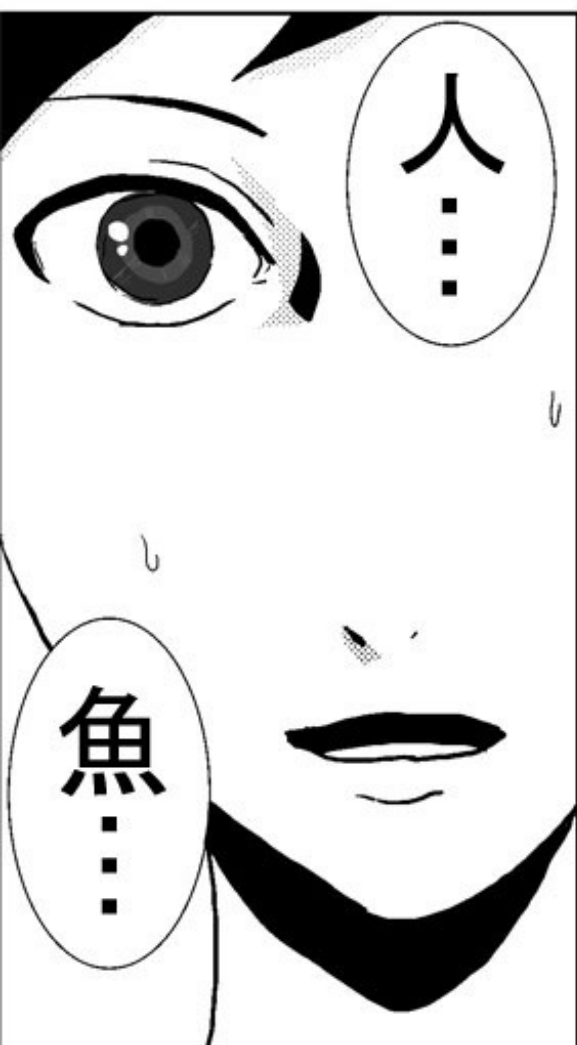


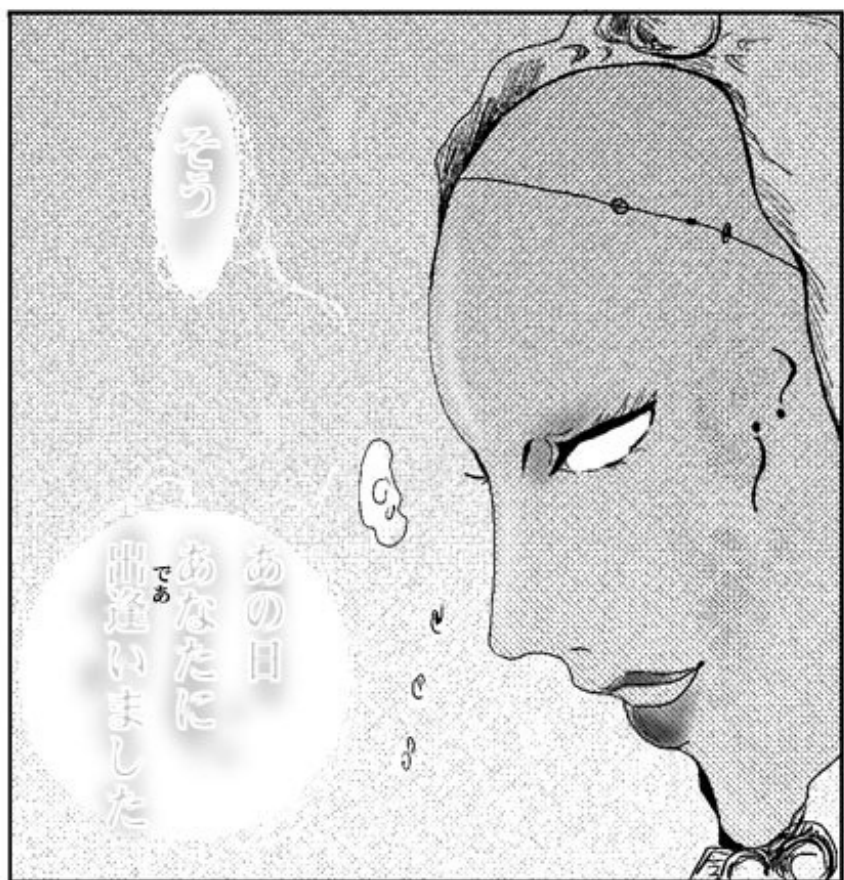
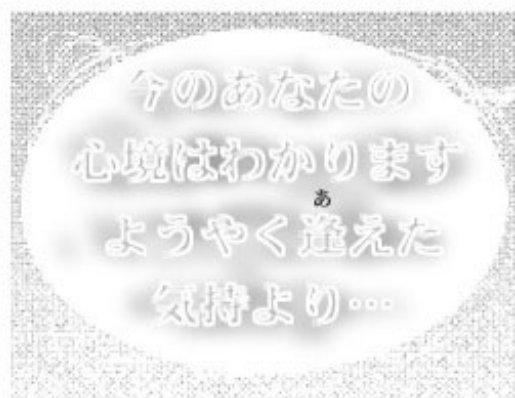
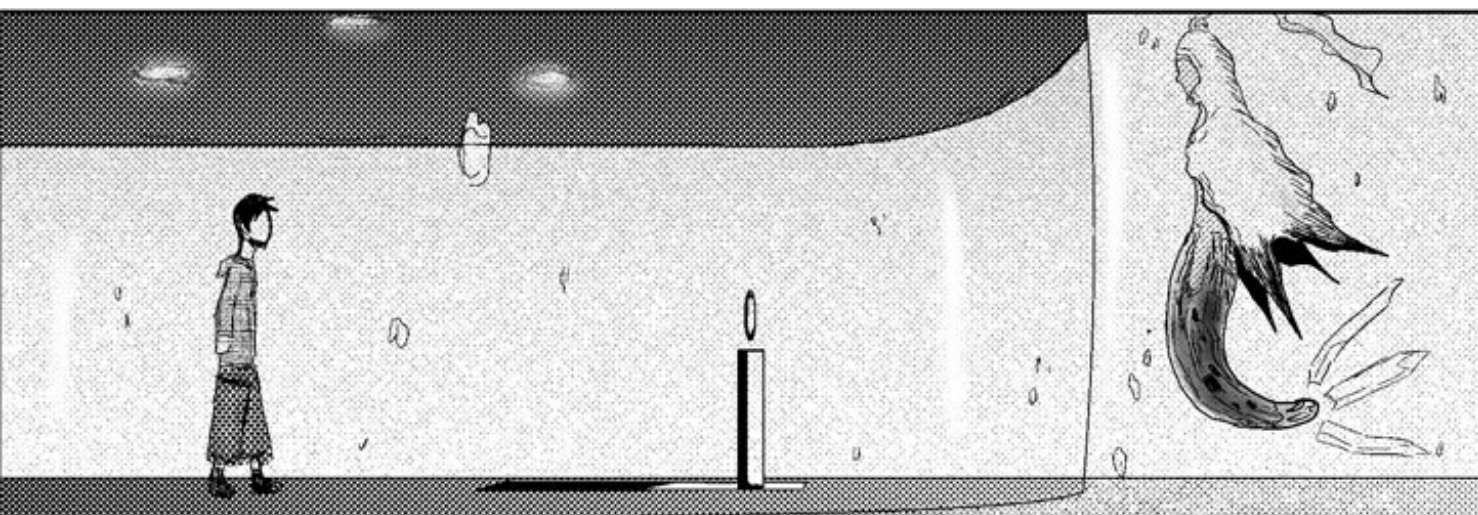


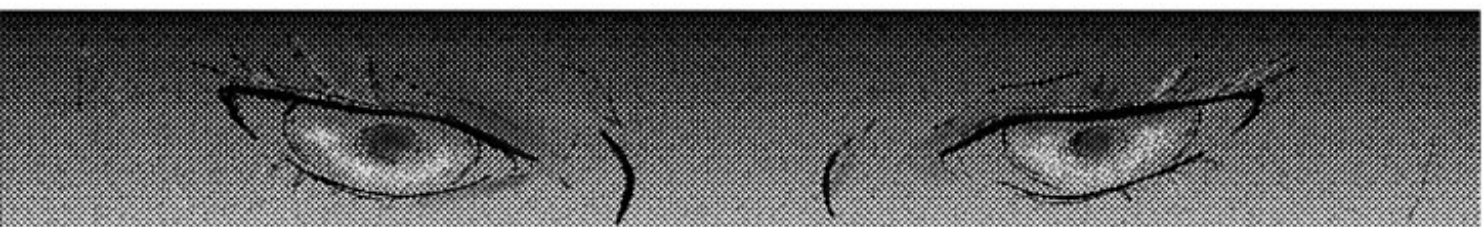
愚者の章

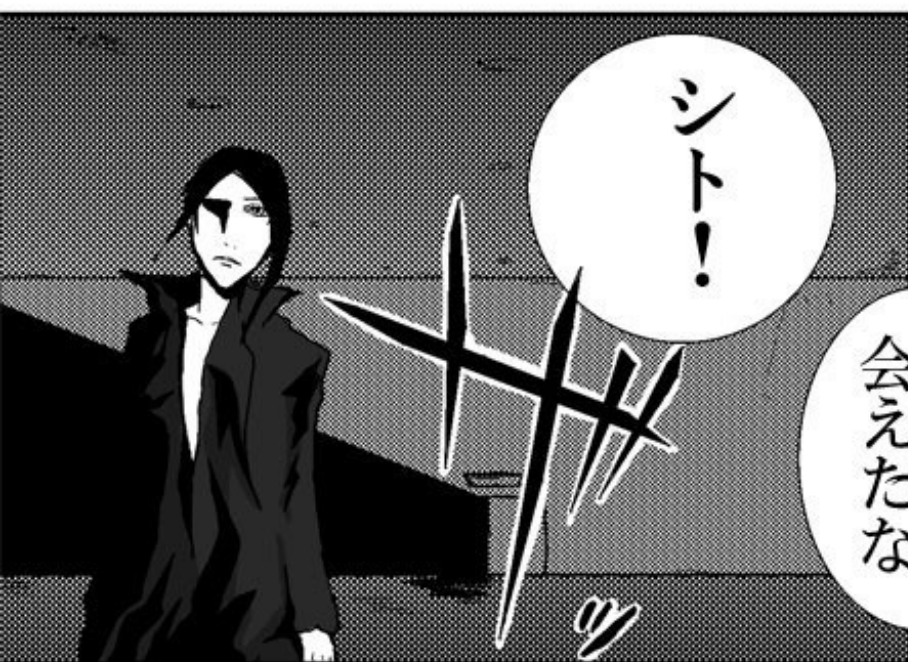
第六節















造られた?!

この人魚が…?!

そんなこと
一体誰…

開拓民一!!



カイー
君のやろうとした
行為は正しくなかった
と思うが…

ある意味では
正しさもあつた
と人魚を見て
思うー

こんなものが
造られていたと
知った日にはな

そうー

彼らは
私を造った

しかし
私の中に
渦巻くのは
希望どころか

これ以上の実験は
必ず新たな悲劇を
生むことは必定

ならば
開拓民や関係者

村人を含む
総ての人間
を無に帰し
ましよう

?!?!



なんで
みんなまで?!

やれやれ

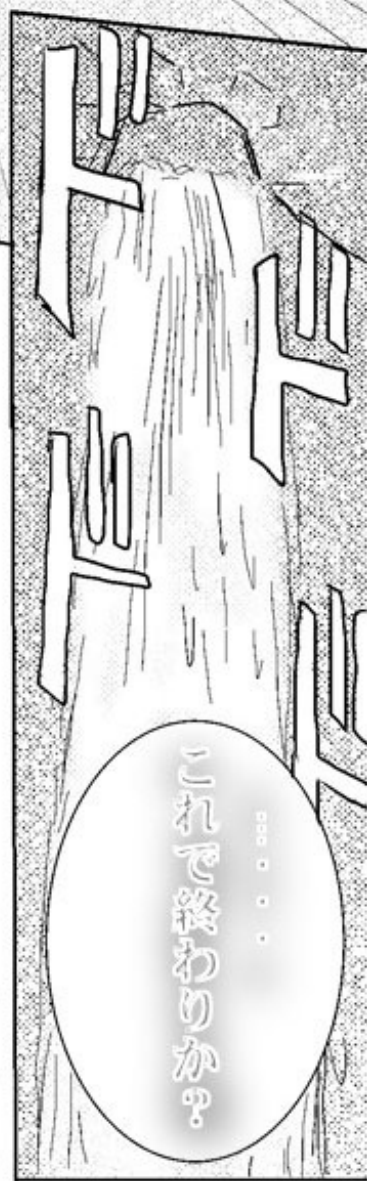
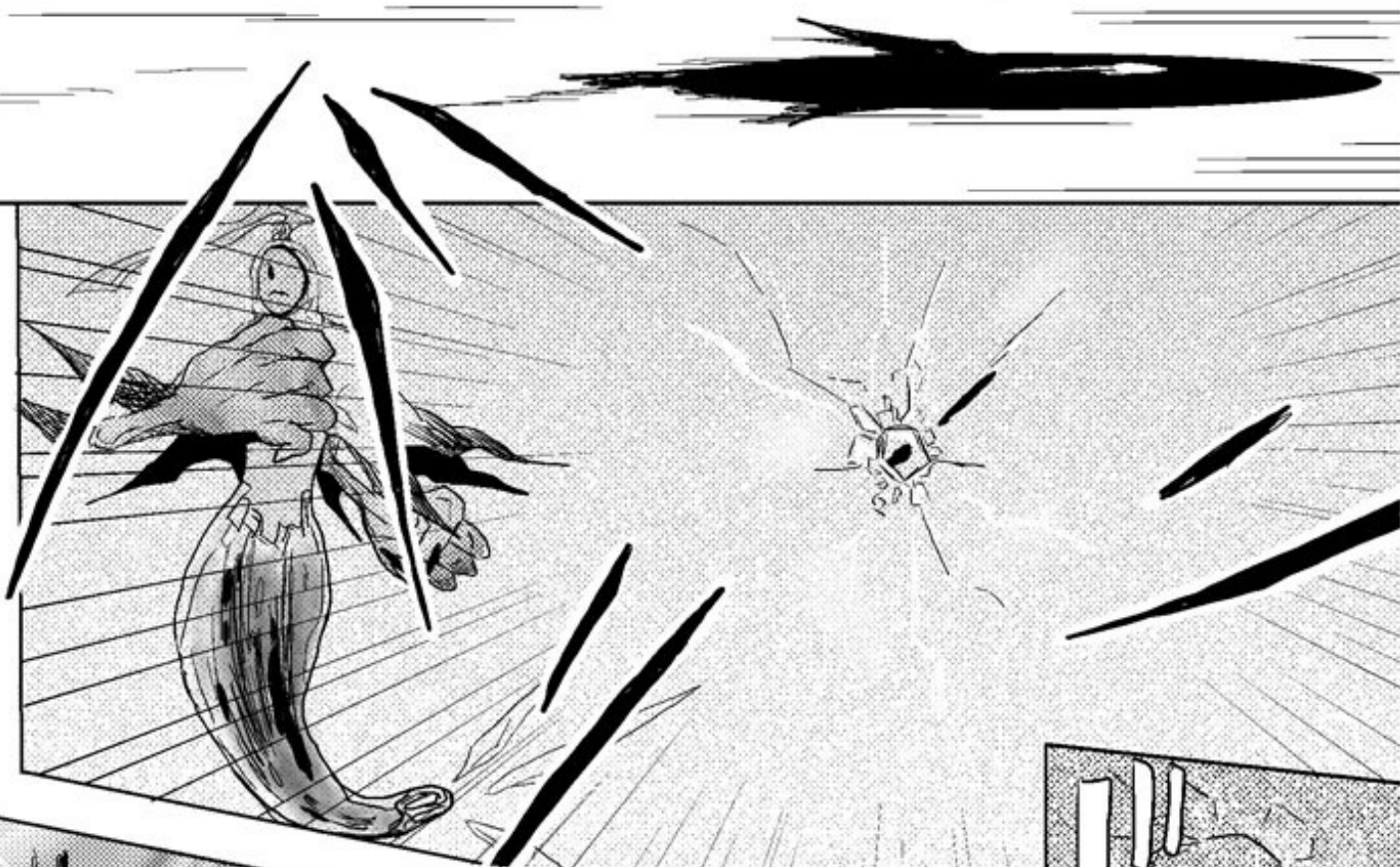
生まれたばかりの
生命は柔軟なもの
なのだが...

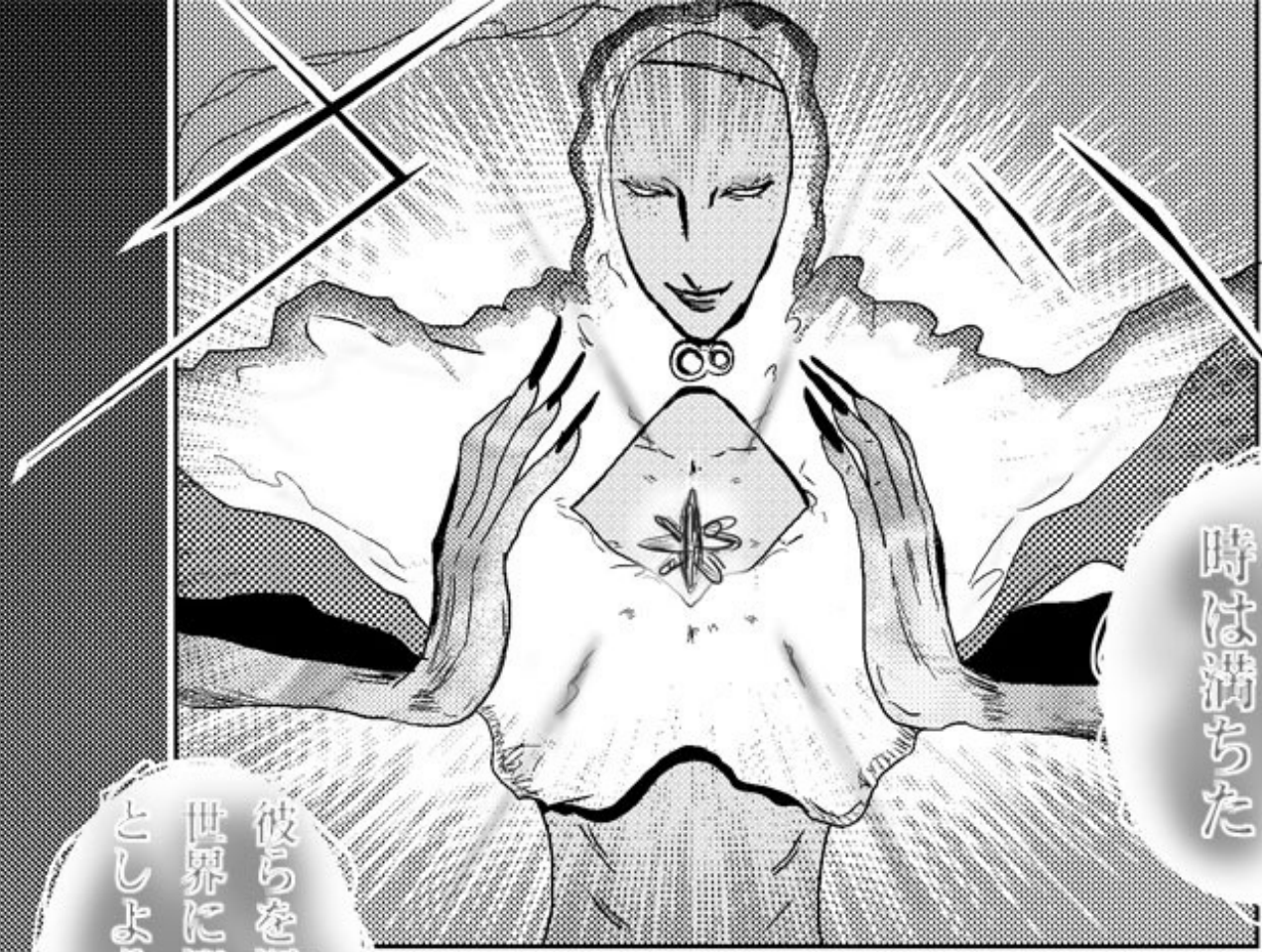
しかたない



うわ







最早
時は満ちた

彼らを深淵の
しんえん
世界に迎え入れる
としよう……





あにき！



ハルト！
カイがそっちに行った
でしょ！
どうしたの!?

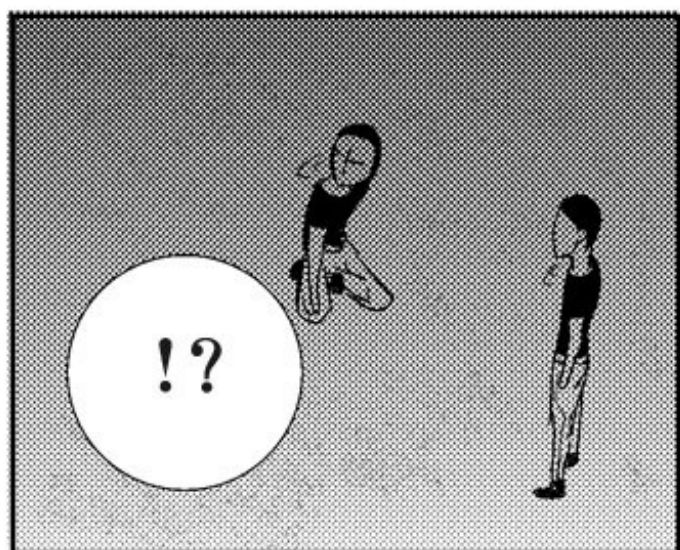
村の作業員
全員集めて
採掘場へ行くぞ！

あの若造に
目に物みせて
やる…！

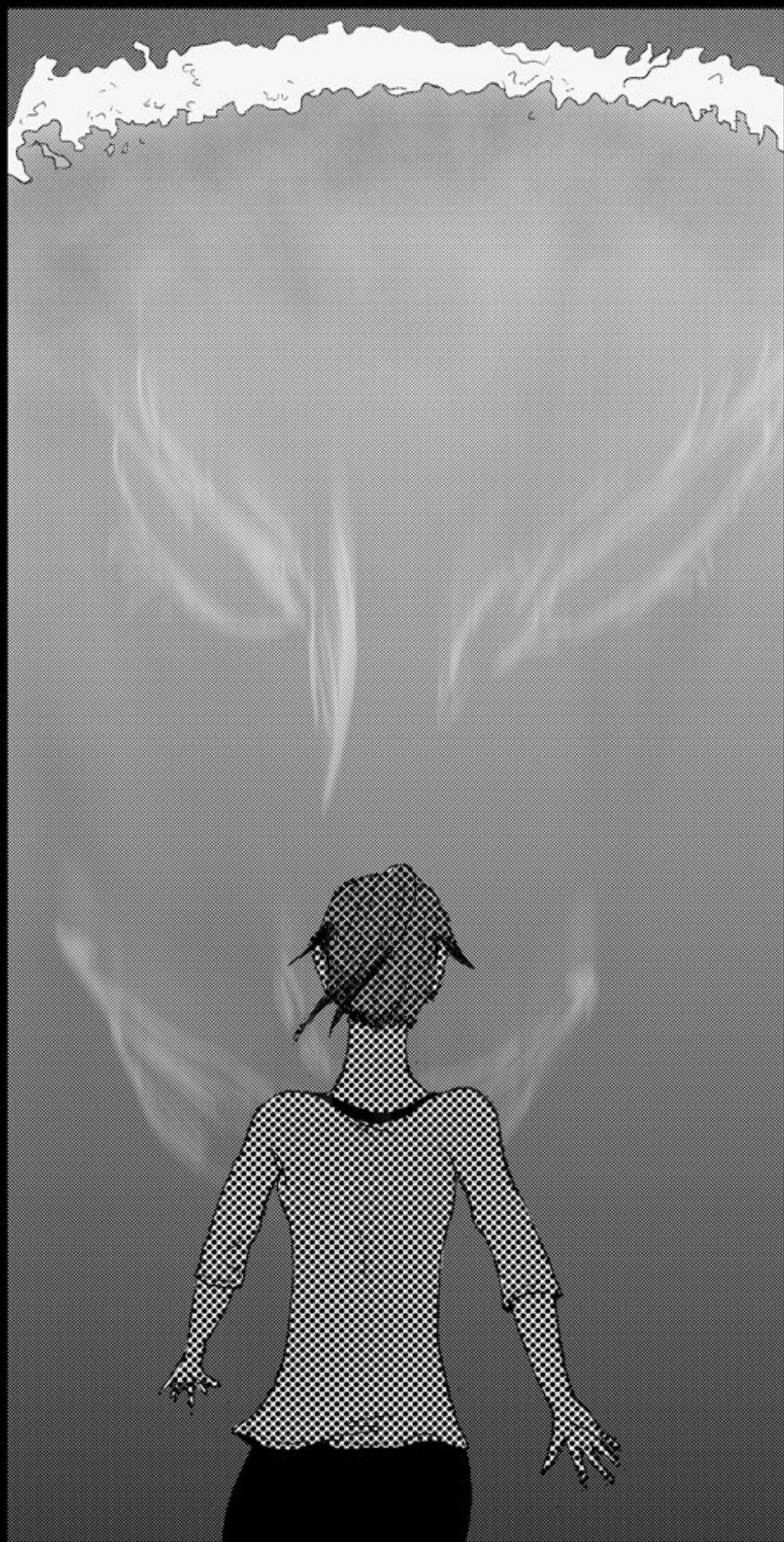


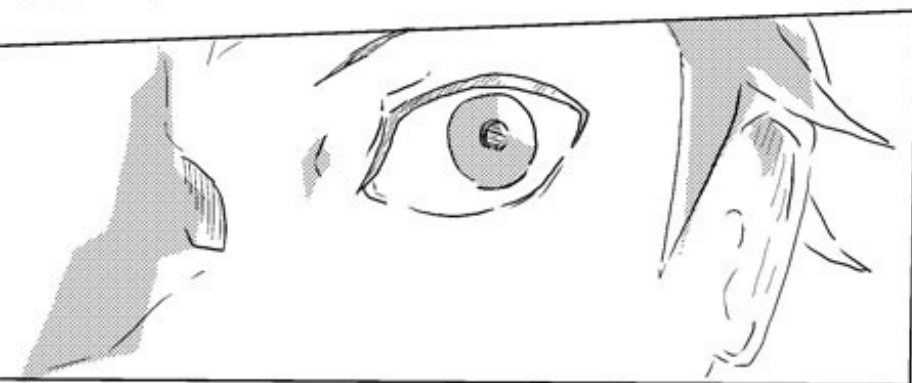
知るか
あんなくそガキ！
それより

デルト
!!



何
あれ





こんな…

俺が望んでいた
ことは
こんなことじゃ
…！

なぜそんなに
悲しむのです…
新たな罪の種は
消え。

あなたを
許せる者達も
いなくなつた
というのに…

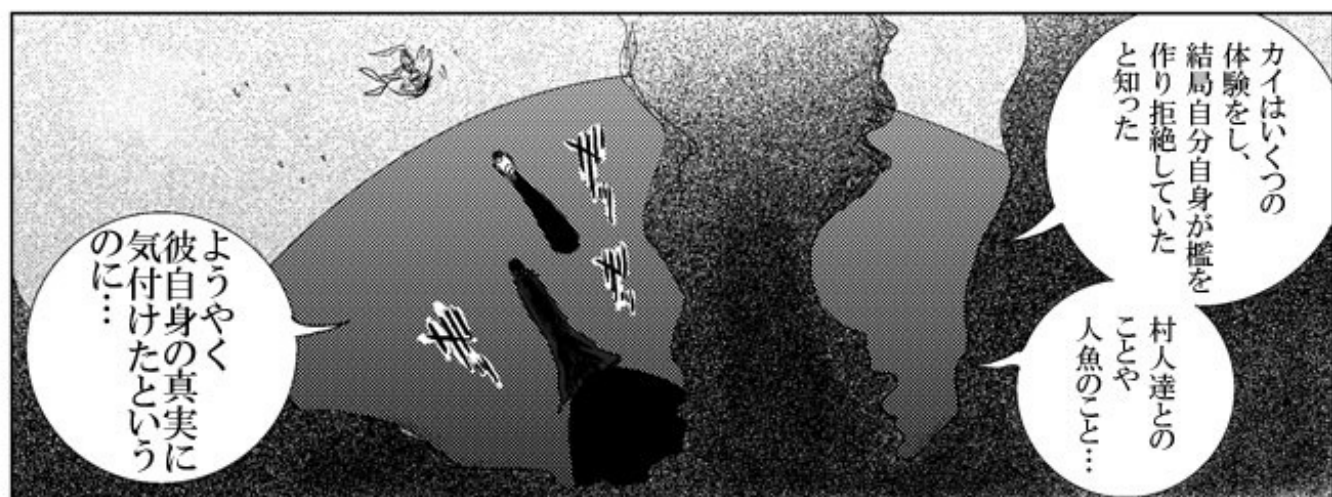
…知りたいか？



心……？



それは彼に
心があるからだ



カイはいくつの
体験をし、
結局自分自身が檻を
作り拒絶していた
と知った

村人達との
ことや
人魚のこと……

ようやく
彼自身の真実に
気付けたという
のに……



もう村人たちと和解する
どころか会うこともできない
だからカイは
悲しんでいる



お前がたつた今、
村人もろとも
消し去ってしまった

なぜだ!?!

彼らは欲望に
まみれた
愚者どもだろう!!

それらが
消えてなぜ
悲しむことが
できる!?!

それが
心というものも
だからだ

お前にはまだ—

それが「愚か」
に映るだろうが…

確かに今の私には
心は分からない

しかし彼の涙を見れば
私も「悲しく」なる



…村もろとも
消し去った私
も最早、罪人
つみびと

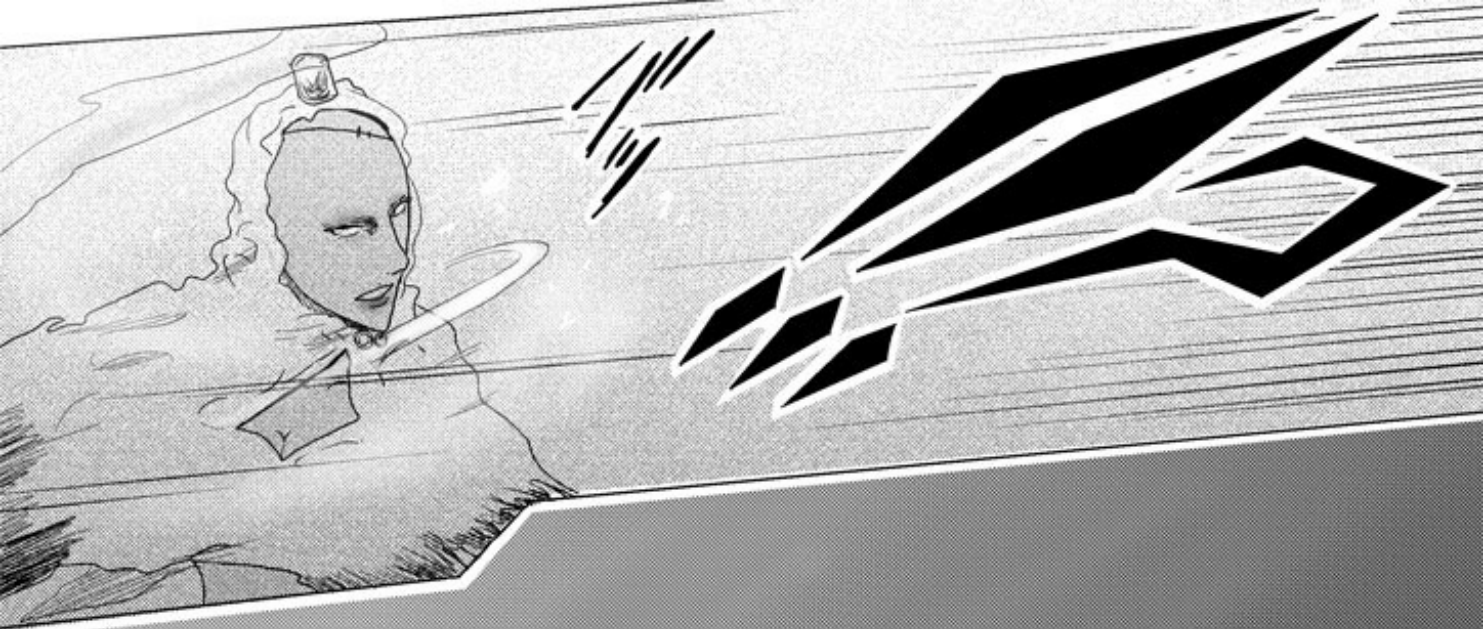
…背負っていない
罪のために
死ぬつもりか？

私ものうのう
と生きるつも
りはない

!?

なにをいっている
何を言っている？



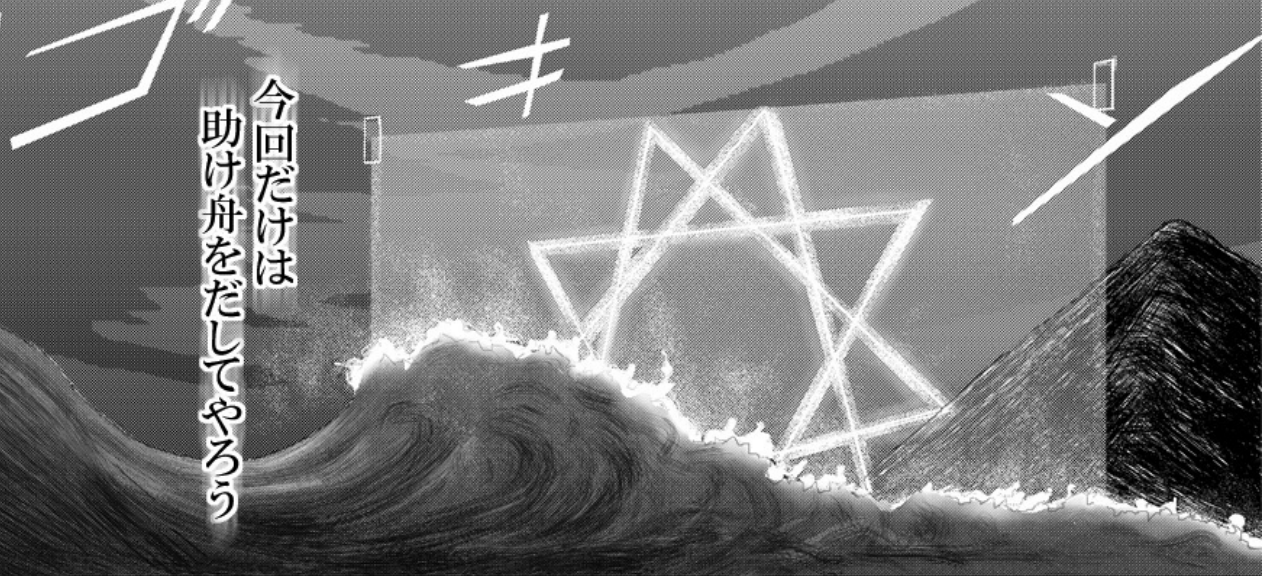


お前はまだ生まれたばかりだからな…



助かった…
のか…？

今回だけは
助け舟をだしてやろう



これ程の力…
お前は一体




あれは麻人の
攻守であいた
罫…


外まで貫通していた
のか！
租いは私ではなく
射人の守護か！

馬鹿な…！
あれ程の規模を…
あれほどの力を


いや、そもそも
あれは一体なんだ…
いったい



私はシト——

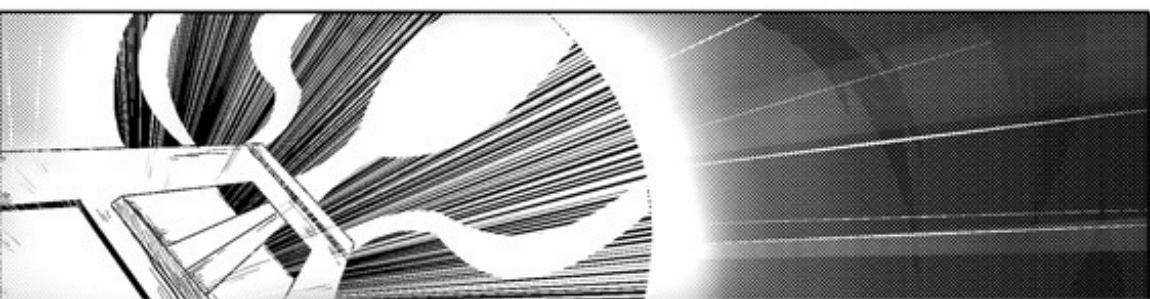


「未明の使徒—アンジェラス・アウローラ—」



漆黒^{しっこく}の夜に
あえぐものを——

ゆる^{ゆる} しょう^{しょう}
赦されし曙光へと
導くために来た





[愚者の章/第六節end]